

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

数値は%

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか。	100		活動ごとにスペースを分けるよう留意している。
	② 職員の配置は適切であるか。	100		非常の時も臨機応援に配置できるよう対応している。 利用人数が増えている為見直したい。 子どもの人数や様子によって職員の人数が足りないと感じる時もある。
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか。	100		視覚的にスケジュールを提示し見通しが持てるようにしている。
	④ 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	92	8	換気、消毒を徹底している。 清掃が行き届いていない部分もあると感じる。 送迎車も都度消毒、清掃をしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	77	23	業務の分担はあるが、目標設定などは共有されてい業務の振り返りの時間を設けられるようにしたい。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか。	100		保護者の意見も取り入れられるよう留意している。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	100		自己評価の集計を職員全体で検討し改善できるよう努めている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	77	23	第三者評価は実施していない。
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	100		研修に参加しやすい環境。 研修内容を職員全体に伝達できる時間が確保できれば尚良い。 専門的な研修を事業所内でも実施したい。 県の研修は参加している。事業所内研修を実施したい 新入社員も参加できるよう計画している。
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100		見学、契約の時、モニタリング時に聞き取りをしながらアセスメントができるよう努めている。	

## 適切な支援の提供

⑪	子どもの適応行動の状況を図るため標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	100		
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	92	8	子どもの環境や状況に応じた支援内容が設定されていると思う。 必要に応じて家族支援、幼稚園訪問を行い地域とも連携ができるようにしている。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	100		会議や研修会で支援計画の内容を周知し、発達に沿った支援を行っている。 個別の課題を設定し計画に沿った支援に努めている。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		委員会を設置し行ってるがより話し合いの機会を設けプログラムを考えたい。
⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	100		今後も新しいプログラムを考えていきたい。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	100		個別課題の時間、集団活動の時間を設定している・
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	100		朝礼を行い担当を確認している。
⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援振り返りを行い気付いた点を共有しているか。	92	8	打ち合わせ後は記録に残し全職員が確認出来るようにしている。 子どもたちの様子を共有出来るよう話し合いをしている。 その都度職員間で共有することはある。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援計画の検証・改善につなげているか。	85	15	個別課題の記録はあるが集団活動は記録されていない。
⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	100		6か月ごとにモニタリングを行い見直しをしている。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	69	31	コロナ禍の影響で電話で打ち合わせをすることが多い。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	100		ADDSと連携しABAセラピストの養成、支援を行っている。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)			
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)			

## 関係機関や保護者

こ の 連 携	②5	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	92	8	必要に応じて情報共有、相互理解ができるよう連携をとっている。 要望に応じて園訪問を実施している。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	77	23	要望に応じて連携はとりたいがまだ実例はない。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか。	92	8	他所とのやりとりが不明。 県の研修に参加している。
保 護 者 へ の 説 明 責	②8	保育所や認定子ども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	23	77	交流したいがコロナ禍なこともあり難しい。
	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等に積極的に参加しているか。	8	92	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		モニタリング会議や日頃の終礼で共通理解を図っているが、時間の確保が難しいこともある。 連絡帳などで保護者様に様子を伝えている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	77	23	要望に応じてペアレントトレーニングを行っている。
	③2	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。	100		契約時に説明をしている。
③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100			
③4	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100		定期的に相談ができるよう努めていきたい。	
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	8	92	感染症の影響で行えなかった為今後実施していきたい。 開催したい。 保護者様同士の交流の場を作りたい。	
③6	子どもや保護者からの相談申し入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合迅速にかつ適切に対応しているか。	100		相談体制を整備し対応している。	

任等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	92	8	SNSで発信をしている。 ブログ、SNSの発信が遅る事もある為定期的に掲載できるよう声を掛けていきたい。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100		
	③⑨	障害のある子どもの保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか。	15	85	コロナ禍の為難しいが今後開催していきたい。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100		年に2回以上防災訓練を実施している。 地震、火災、洪水など様々な災害を想定し訓練できるよう計画をしている。
適切な支援の提供	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100		
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等子どもの状況を確認しているか。	100		
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100		
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100		ヒヤリハットがあった場合会議で周知し予防、対策に努めるようにしている。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100		全職員研修に参加し意見を出す機会を設けている。 虐待防止研修を定期的実施している。
	④⑰	どのような場合にやむ負えず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか。	92	8	マニュアルを策定し、研修を実施している。必要に応じて保護者に説明をし同意を得ているがまだ実績はない。